

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和2年度第1回さむかわ元気プラン推進委員会		
開催日時	令和2年8月6日（木）午後1時30分から午後2時50分		
開催場所	寒川町消防本部 3階講堂		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	出席：酒井委員、亀山委員、高山委員、小林委員、猿渡委員、 吉川委員、浅野委員、黒瀧委員、滝澤委員、江頭委員、 落合委員、石井委員、大久保委員、稲垣委員、青木（義）委員、 小出委員、三簾委員、青木（春）委員、田中委員 事務局：伊藤健康子ども部長、亀井健康・スポーツ課長、 今澤技幹、嶺主査、大西保健師 欠席：神部委員、菊池委員、榎本委員 傍聴者：なし		
議 題	（1）さむかわ元気プランの概要について （2）第2次さむかわ元気プランの素案について （3）今後のスケジュールについて （4）その他		
決定事項	・委員長及び副委員長の選出： 委員長→小林委員、副委員長→吉川委員 ・議事録承認委員の指名→酒井委員、亀山委員		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<次第1> 開会 <次第2> あいさつ <次第3> 自己紹介 <次第4> さむかわ元気プラン推進委員会設置要綱について <次第5> 委員長及び副委員長の選出：委員長は委員の互選により選出。副委員長は事務局提案。 委員長：小林委員、副委員長：吉川委員で了承された <次第6> 議事録承認委員の指名：事務局より、委員名簿順で名簿1番酒井委員、名簿2番亀山委員を指名し、了承された		

。
※事務局より、会議の公開及び会議録作成の為の録音について説明及び本日の傍聴希望者がいないことを報告。

< 次第 7 > 議題

【小林委員長】

議題（１）のさむかわ元気プランの概要について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

議題（１）さむかわ元気プランの概要について御説明させていただきます。 まず、お手元にあります第２次さむかわ元気プランの素案、２ページを御覧ください。

第１章「計画策定にあたって」に記載させていただいておりますが、さむかわ元気プランは平成２０年度から始まり、２期目が平成２５年度から５年間、そして３期は寒川町総合計画さむかわ２０２０プランとの整合性を図り、平成３０年度から令和２年度までの３年間とし、計１３年間の計画ということで策定いたしました。

策定するに当たっては、国が策定いたしました「健康日本２１」、神奈川県が策定いたしました「かながわ健康プラン２１」の趣旨を踏まえながら、元気プランの委員さん方の実績報告書等も参考にさせていただいたり、町民の方からの御意見、パブリックコメントを通してさむかわ元気プランを策定しております。

１４ページ、１５ページを御覧ください。第４章「分野別・ライフステージ別に合わせた健康づくり」に掲載しておりますが、２、計画の構成といたしまして、町民一人一人が年代別に応じて主体的な健康づくりに取り組めるよう、幼年期、少年期、青年期、壮年期、中年期、高年期と６つのステージを設定しております。

そして、１５ページの３、分野別・ライフステージ別の行動目標に掲載しております健康づくりの基本的要素となる食育・栄養、身体活動・運動、休養・こころの健康、歯・口腔の健康、疾病予防・健康管理、たばこ・アルコール、地域の７つの分野に設定しております。

詳細につきましては、議題（２）第２次さむかわ元気プラン素案にて説明させていただきますが、この元気プランを推進するためにさむかわ元気プラン推進委員会がごございます。委員会につきましては、公募の町民の委員さんと各団体に所属する委員さんで構成されており、各委員さんが活動や経験と意見を出していただき、健康づくりのためにそれぞれ

の立場の中で健康増進のために何ができるかというものを考えていく。健康づくり、食育、歯と口腔の健康を達成していく活動を共有し、それをまた団体や地域に持ち帰っていただいて広げていただきたいと思います。今回は時間の関係もあり、各団体の活動報告と意見等の交換は割愛させていただきますが、後日、頂いた報告書を基に事務局でまとめまして、議事録と一緒に送付させていただく予定でございます。

今後の委員会では、報告された内容、活動を共有し、委員さん同士の意見交換などから参考になる活動、それぞれ担う部分など、その中に健康、食育、歯と口腔の健康という視点を加えていただいた活動など地域へ発信いただくことをお願いしたいと思います。基本は、自分の健康を中心に元気プランの目標を達成するために各団体さんのお力添えをいただければと思います。以上になります。

【小林委員長】

ただいま事務所より説明がございましたけど、委員の皆様、御質問は何かございますか。今のは概要ですので、次の素案に入っていきます。

引き続きまして、議題（２）第２次さむかわ元気プラン素案について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、第２次さむかわ元気プラン素案の内容を御説明いたします。素案の２７ページ、第５章を御覧ください。

第５章は、前計画の評価となっております。実は、この前計画はまだ進行中ですが、前計画とここではさせていただきます。前計画の評価のために町民アンケートを実施しております。対象者につきましては、７歳から１４歳の小中学生と１５歳以上を対象にした２種類を実施しました。小中学生につきましては、町内の小学校３校の５年生と中学校１校の２年生の合計４６３名、１５歳以上につきましては、年代ごとに平均的に無作為抽出しました１,２９６名を対象とし、５月に郵送で送らせていただきました。その結果、返信用封筒で回収した回収率が７歳から１４歳につきましては５８.１％、１５歳以上が３７.５％となっております。

（２）のライフステージ別の健康づくり評価基準でございますが、評価基準は設定いたしました目標数値の達成度から判定しておりますが、目標に達していない場合につきましては、前回平成２８年度のアンケートの結果と今回のアンケートの結果を比較し、評価しております。その評価基準は４段階になっておりまして、Ａが「目標値に達した」、Ｂが「目標値に達していないが改善傾向にある」、Ｃが「やや後退している」。

ポイントとしましては1から9%以内。Dが「悪化している」、これが10%以上、後退しているの4分類となっております。

続きまして、次ページ、28ページを御覧ください。

こちらが今回のアンケートの全体評価となっております。評価項目は全部で42項目ございました。このうち全体の26項目がAまたはBの改善あるいは改善傾向となっております。前回28年度と比べますと、改善傾向の項目は増加しております。幼年期につきましては項目が4個、少年期が6個、青年期が7個、壮年期も7個、中年期が9個、高年期が9個の42項目です。そのうち目標を達成したA項目となりましたのが13項目、B項目の達成はしていないが改善傾向にあるものが13、合わせて62%となっております。

残念ながら悪化している項目がDランクの7項目ございまして、ライフステージ別に言いますと、少年期の身体活動・運動の分野、遊ぶときは身体を動かして遊ぶの減少、青年期、壮年期の休養・こころの健康の分野、ふだんの生活でストレスを感じるの増加、中年期では身体活動・運動の分野、運動を全くしていない割合の増加、高年期では疾病予防・健康管理の分野、過去1年間に健康診断や人間ドックを受けていない割合の増加、地域の分野でシニアクラブ加入率の減少となっております。運動、ストレスの項目の結果につきましては、今回のアンケートの時期が新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中と重なり、室内自粛が要請されていたことも影響していると考えています。また、高年期のシニアクラブ加入率についてですが、前回の目標値がシニアクラブ加入率の直接の数字ではなく、高齢者アンケートの集計結果で何かしらの地域活動に参加しているかどうか、その数値を基にしておりましたので、正確な評価ができないという結果となっております。

続きまして、29ページでございます。(4) ライフステージ別の健康づくり進捗状況でございます。

まず1番の幼年期につきましては、ほぼ改善傾向のものがありまして、特に4番の3歳で虫歯のない人の割合が、28年度の実績値が77.4%、今回の目標値が88%でしたので、若干目標値を達成していないため、Bランクとなっておりますが、87.1%とかなりの改善が見られています。なお、この数値、国の平成29年度では85.6%ですので、寒川町のほうが改善している状況が見られています。

次に2番の少年期でございます。少年期につきましては朝食の欠食率、また朝食を1人で食べる割合、この2つが大きく改善いたしました。しかし、運動の分野、体を動かして遊ぶは後退しています。この3つの

項目ですが、これも今回のコロナウイルスの緊急事態宣言下でお父さん、お母さんの在宅勤務や学校の休校などの影響も考えられますので、引き続き状況を見ていくことが必要と考えております。

続いて、30ページを御覧ください。青年期では食育・栄養の分野、朝食の欠食率は大きく改善しましたが、外食時にカロリーや栄養配分に配慮する割合は目標には達しませんでした。改善傾向は見られています。女性の痩せの割合が大きく後退しておりまして、アンケートの分析結果では、若い女性は特に体重が平均的であっても痩せたいと考えている方が多く、この願望が強いということで、適正体重の啓発というのが非常に必要だと考えられました。また、歯と口腔の分野でも青年期は全ての年代の中で歯の健康に関心がない、一番の世代ということになっております。また、アルコールの分野では未成年での飲酒等はいないのですが、健康に関心がない状態がやはり青年期の方には見られる傾向がありました。

続いて、4番、壮年期です。壮年期についても朝食を食べない割合は大きく改善し、目標を達成しましたが、外食時のカロリー等に気をつける割合は目標値に達していません。また、ふだんの生活でストレスを感じる割合は後退していますが、緊急事態宣言下の環境変化も鑑みて、引き続き状況を見ていくことが必要と思っています。健康管理の分野では、健康診断を受けてない割合が後退しています。この3番の青年期と4番の壮年期の40歳に満たない年代は特定健診の対象にならない年代です。なかなか健康診断を受ける機会がない方もいらっしゃいますので、この世代への健康診断の働きかけが非常に重要かと思われました。

続きまして、5番、中年期です。中年期は肥満が大きな問題となっております。男性の肥満者の割合、女性の肥満者の割合、どちらも後退しています。また、運動の分野の運動を全くしない割合も後退しておりまして、生活習慣病予防のための対応が引き続き必要と思われました。また、歯と口腔の分野では定期的に歯科健診、歯石除去、歯面清掃を受けている割合は目標値に達しています。また、歯の間を清掃する器具を使用すると答えている方が5割を超えていることから、日頃の歯の管理が徐々に定着していることが分かりました。現在、歯周疾患は大変増加しておりまして、歯の医療費も高騰しておりますので、引き続きの対策が必要と考えております。アンケート結果で45歳以上の男性で毎日飲酒をするという方が5割以上という結果が見られました。飲酒量の評価項目で1日飲酒量1合未満の割合はほぼ達成に近くなっていますが、毎日飲酒しているという方が年齢を追うごとに増えているという状況が

見られました。特にそれは男性について見られましたので、飲酒についての啓蒙普及については生活習慣病と併せ、必要だということが分かっております。

続いて、32ページを御覧ください。高年期の分野です。

高年期では、現在、高年期世代の痩せが認知症や生活機能の低下を招きやすいということで注目されております。今回のアンケートでも60から74歳の痩せの割合が目標値を下回りました。さらに75歳以上だけを抽出してみますと、男性では痩せの割合が3割の方、女性では4割の方が痩せているということが分かりました。この対策については今後の対応が必要ということが分かっております。また、シニアクラブ加入率は今回、前回の指標と評価基準が違ふということで正確な評価ができておりませんが、高齢者の方が何らかの地域活動に参加しているかというのは非常に健康づくりに大きく影響するということで、今後できればいろいろな生活の中で参加していけるような対応をしていければと考えているところでございます。また、健康管理の分野でも健康診断を受けていないと答えている方が増えておりまして、後期高齢者の健診ですと無料で受けられることもありますので、ぜひこれについては健診を受けることを普及していきたいと思っております。

アンケートの評価については以上でございます。

33ページ以降は現在町の状況が載っております。人口のことですとか、高齢化率、また健診の結果等での成人病系の問題等が載っておりますが、これらの状況は、この後の素案の中の計画に盛り込んでおりますので、今回は省略させていただきます。

続きまして、6ページを御覧ください。今回の第2次さむかわ元気プラン前期計画の基本理念でございます。

基本理念は、「ひとのつながり、地域のつながり、つながる力で健康づくり」とさせていただきました。寒川町では健康都市宣言を昭和62年9月28日にいたしておりまして、健康は生きがいのある充実した生活を送る上で最も重要で基本的な条件であるとされています。この実現には一人一人が主体的に自分の健康は自分で守るという意識を持ち、人のつながりや地域のつながりを大切にすることが基調となります。「ひとのつながり、地域のつながり、つながる力で健康づくり」を基本理念として推進し、つながることで生まれる力で町民一人一人が生涯を通じて健全な心と体をつくり、明るく幸せな生活を送れることを目指します。

その下にありますコラムを読ませさせていただきます。

ひとのつながりが健康をつくる。タバコを吸わない、運動する、太りすぎないといったライフスタイルが健康や長生きに良いことは誰でも知っています。それ以上に健康と長寿に良い影響があるライフスタイルが、「ひとのつながり、社会のつながり」で、その影響は運動の3倍とされています。皆さんも御存知かもしれませんが、2018年イギリスでは「孤独担当大臣」が創設されました。人や社会のつながりをつくる施策がそこで実行されています。寒川町でも今までの健康づくりに合わせて人のつながり、社会のつながりを皆さんと一緒に推進していけたらというのが今回の基本理念でございます。

続きまして、7ページ、計画の基本目標でございます。計画の基本目標は、「平均自立期間と平均寿命の差を縮小する。(自立して元気に生活できる期間を延ばす)」でございます。日本の平均寿命はまた最高を更新いたしました。しかし、平均寿命まで皆さん元気で生きられるかというと、そうではないとなっております。この健康寿命、平均自立期間を平均寿命に近づける、これが今回の目標でございます。今回設定しました平均自立期間とは何なのかというのが記入してあります。こちらは介護保険のデータを基に要介護2以上を不健康としまして、それ以外を日常生活が自立しているとして算出したものです。その下に表がありまして、国と県と町、男性、女性の平成29年と30年を明記しておりますが、平成30年では、男性はやや改善しまして、町の不健康期間、平均寿命と平均自立期間の差が1.0となっております。国と県もほぼ同じような状況です。女性については、平成30年で寒川町は平均寿命と平均自立期間の差が3.5歳となっております。国、県と比べても高率となっております。この数値を追いながら寒川町の健康寿命、平均自立期間を延ばしていくということを目指しております。

続きまして、14ページを御覧ください。先ほども概要で御説明いたしました、ライフステージは6つに分けております。また、健康に大きく影響する基本的な要素としまして7つの項目を挙げておりますが、その中で一番下の地域をプランの中に盛り込んでいるのは前回のプランから一貫して寒川町独自のものとございます。地域の中で人とつながることが大きく健康に影響するということで、これを今回は皆さんにも御協力いただきまして、達成していきたいと思っております。

皆さんにお願いする役割を明らかにするために25ページを御覧ください。これまでどおり皆さんにお願いすることは同じでございますが、関係団体ということではなく、今回からつながる団体と表記させていただきました。つながる団体には、地域の団体の皆さん、保健・医療・

福祉関係の団体の皆さん、保育や教育関係の皆さん、また様々な組合等の関連団体の皆さんがいらっしゃいます。それぞれの立場で様々な人と人とが有機的につながる役割を果たしていただいているかと思いますので、これまでどおりの活動の中、人と人がつながっていけるといいということを皆さんの頭の中に描いていただきながら、ぜひ有機的なつながりを生んでいただければありがたいと思っております。

続きまして、各年代の目標でございます。16ページに戻ってください。こちらから幼年期、少年期の指標と目標値、また、それぞれの課題等が書かれております。先ほどアンケートや町の状況から、健康づくりの課題がそれぞれのライフステージで分かってくるので、それを基に今回の指標と目標値を設定しております。これまでは細かい分類で目標値を設定しておりましたが、今回からは幼年期、少年期、また19ページには青年期、壮年期、中年期の目標、最後に22ページに高年期の目標ということで設定させていただいております。これらの指標は現状値が今回取りましたアンケートの数値、または健診等の数値が入っております。4年後の令和6年の目標値を定めております。また、令和6年の目標値が今回と同じように達成しているのか、達成できなかったのか、それを評価し、目標の修正を図っていければと思っております。

これが新しい次期計画の概要でございます。よろしくお願いいたします。

【小林委員長】

事務局より説明がございましたけれども、委員の皆様方、御質問ございますでしょうか。

【田中委員】

19ページのところの目標値で、歯・口腔の健康で歯磨きを1日2回以上する割合が、令和6年の目標40%となっています。

【事務局】

すみません。御指摘ありがとうございます。こちらの記載ミスですので、修正させていただきます。

【小林委員長】

ほかに何かございますか。

【大久保委員】

質問ですが、今のページで壮年期の次が中年期となっていますが中年期の定義・意味はどういうことですか。

【事務局】

14ページに記載させていただいておりますが、こちらがライフステ

ージが何歳から何歳を意味するかで、壮年期が25から44歳で、若い世代を示し、中年期が45歳から64歳となっております。

【大久保委員】

高年期の年齢は。

【事務局】

高年期は65歳以上です。高年期も表現によっては介護保険や、国民健康保険では前期高齢者と75歳以上を後期高齢者と呼ぶ表現はございますが、この元気プランの中では65歳以上を高年期として捉えております。

【大久保委員】

32ページの表がありますが、6番、健康診断・ドックを受けていないというのが目標なので、受けないのが12%。逆に言うと88%は受けるという目標ということですね。

【事務局】

そうです。平成28年度は受けていない方が17.6%だったので、目標値を12%に設定したようですが、今回のアンケートでは、健診・ドックを受けていない方が29.4%いましたので、受けていない方のほうが増えてしまったという現状です。これがかかりつけの先生がいらっしゃるから受けていないのかという理由もあるかとは思いますが、年に1回の健康診断は受けて、かかりつけの先生以外に病気を診てもら。恐らく受診するのにもかかりつけの先生になると思いますので、できれば受けていただけるように更に図っていきたいと思っております。

【田中委員】

今の関連で、実際のところ原因というか、要因というのがどうして健診を受けてないのか、例えばドックを受けて何かメリットがある、発見率が上がってどういう効果が今年の中であつたなどメリット・プラス要素があれば、もう少し前面に出すような形ができないのかなとちょっと思いました。

【事務局】

ありがとうございます。ただいまの非常に貴重な御意見、ありがとうございました。実は、後期高齢者、75歳以上の健診につきましては、今年度から寒川町でも受診の勧奨と受診後のフォローについて力を入れていこうということで、この健康・スポーツ課と保険年金課の保健師で研究いたしまして、取組を始めております。今おっしゃっていただいたような健診を受ける効果などを伝えながらぜひ受けていただけるような形で進めてまいりたいと思いますので、また皆様お気づきの点があ

りましたら、いろいろ御意見やアドバイスいただけますと、大変助かります。貴重な御意見、ありがとうございました。

【滝澤委員】

この結果というのはアンケート結果だと思いますが高年期はどうやっているのですか。

【事務局】

無作為に抽出した方にアンケートを郵送しまして、返ってきた方のお答えでございますので、おっしゃるように全員の方ではございません。今回アンケートを御返信いただいた方の集計結果でございます。

【滝澤委員】

前回、小学校、中学校をやりますという話がありましたが、高年期とかあまり聞かなかったの、同じようにやっているのですか。

【事務局】

はい。15歳以上につきましては年代ごとに平均的な方を同じ人数を抽出しまして、発送しております。実は、逆に年代の高い方のほうが回収率は高いです。ただ、もちろん全員の御意見ではございませんので、寒川町の御返送いただいた皆さんの状況を御報告している形でございますので、滝澤さんのようにシニアクラブとかで活動している方のほうがより身近に高齢者の方を御存じかと思っておりますので、ぜひお力添えいただきまして、皆さんが健診を受診していただけるような、また、こういうメリットがあるよということを地域の中から普及していただけたら大変ありがたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【滝澤委員】

この結果というのは、健康診断の結果も入っていますか。

【事務局】

健康診断の結果につきましては、今回は後期高齢者ではございませんが、40歳から64歳までの特定健診の結果について、33ページ以降の町の状況に入れさせていただいております。

【滝澤委員】

高年期に痩せが目標値を下回りましたとありましたね。アンケートに体重とか書く欄があるのですか。

【事務局】

御本人に身長、体重を記入していただきました。年代ごとに痩せの範囲というのが違いまして、特に高齢者については、今BMIといいまして、体格指数が21.5、これより痩せていると痩せという判定になり

まして、若い方より厳しくなっておるので、少し多くなったのはあるとは思いますが、全体的に健診結果を見ましても、高齢期に入ると、これまでの中年期の結果では太っている方が多いので、恐らく先生からも食べ過ぎちゃいけないよ、こういうものを食べちゃいけない、体重はコントロールしていきましょうという御指示がきっとあると思います。それが高年期になってもそのままになってしまっていて、逆に食が細くなっているにもかかわらず、必要な栄養を取らないために痩せになっている傾向があるのではないかというのが今、国の研究で分かってきています。

痩せてきますと、フレイルといいまして、心身の虚弱ですとか、体力低下を招きます。そのことによって認知症ですとか、骨折などの症状を引き起こしやすいということで、高齢者の痩せについては必要な栄養を取って健康を維持していくための指導が必要なのではないかというのが国の研究でございます。

実際には全ての方を調査したわけではありませんが、町では現在高齢者健診の結果から、あまりにも体重が心配だなという方につきまして、健康・スポーツ課と保険年金の保健師と栄養士が個別訪問を始めているところです。少しずつ皆さんに結果が出てくればいいなと思っておりますので、また、いろいろな御意見がありましたら、いただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

【滝澤委員】

ありがとうございました。

【小林委員長】

ほかはいかがでしょうか。これだけの団体がいますので、ちょっと声をかけて健診とかに行きましようかと誘ったり、後押ししていただくと非常にいいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、第2次さむかわ元気プラン素案については、委員の皆様よろしいでしょうか。

それでは、議題（3）今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

スケジュールについて説明させていただきます。資料No.3番を御覧ください。

訂正をお願いいたします。令和2年8月（2年度）の下に8月9日委嘱式となっておりますが、大変申し訳ありません。今日が委嘱式になりますので、8月6日になります。

こちら元気プランの委員さんの任期ですが、令和2年7月31日から令和4年7月30日までの2年間となっております。

今年度につきましては、今日8月6日が委嘱式、第1回元気プラン推進委員会となっております。そして、令和3年2月に第2回さむかわ元気プラン推進委員会を予定しております。2月の元気プラン推進委員会では、今説明させていただいた第2次さむかわ元気プランの最終案の報告、次の年度、令和2年度の活動報告の用紙をお渡しさせていただきますので、次の年、2年目の8月にまた予定をしておりますが、そちらで活動報告のほうをさせていただく予定でございます。第2次元気プランにつきましては議会等の手続を経ましたら、後日、完成版を委員さんに送付させていただく予定であります。

2年目となります。下段です。先ほど言いました令和3年8月に前年度活動報告、今回の報告は割愛させていただいたのですが、この8月には皆様の活動報告をしていただきまして、意見交換をさせていただきたいと思います。令和4年2月、第2回の委員会では、新年度の活動内容について皆様の意見交換等を開催する予定でございますので、どうぞ御協力のほうよろしくお願いいたします。 以上になります。

【小林委員長】

では、今の件で説明がございましたけど。

【石井委員】

初めて参加しましたが、今それぞれの、例えば私は体育協会ですから、今までのデータをいただきまして、体力に関するものとか、もろもろつながりとか、関連のものを自分たちのところを加工して、結果を持ってくるということですか。それぞれの団体が個々にやって、それを持ち寄るということでしょうか。

【事務局】

そうです。今回は皆様に以前いただいた活動報告をお願いさせていただいて、もし新たなものや継続している場合に関しての実績報告をいただいております。

【石井委員】

この結果、特にC、Dにかかったようなところをそれぞれの団体で改善できるものを上げて、結果まで持ってくるという理解でいいですか。それともそれを途中で発表して、それは駄目とかあるのですか。

【事務局】

皆様の活動につきましては、この中のA、B、C、Dとは直接関係はないのですが、これまで実施していただきました活動でこういうことを

したよということを御報告いただきまして、それが全てこの元気プランの推進の基礎になるものと考えております。それが最終的にどんな結果だったかにつきましては、4年後にまたアンケートを実施させていただきまして、で評価させていただきますので、かつ、各団体の皆さんの活動につきましては、それがいい、悪いということではなく、こういう理念の下に進めましたよということを、何人来ましたということですかを御報告いただければありがたいと思っております。特にこの元気プランのためにやったということではなく、皆さんの活動そのものが健康の推進につながっているものと考えておりますので、皆様方が各団体で実施していただいた内容をそのまま御報告いただければ大丈夫です。

体育協会の石井さんのところは、今回、陸上協議会さんから御参加いただいておりますので、ほかの団体のことは詳細ちょっと分からないので、うちの団体のことだけだということでももちろん構いません。うちの団体だけだ、ちょっとこういうことが気になったから新しく始めてみましたということがあれば、またそれを御紹介いただけましたら、またそれを元気プランの中で皆さんにお知らせしていくような形にしたいと思っておりますので、A、B、C、Dとは全く関係なく、皆さんが進めていただいている活動を引き続き進めていただく、その中で人と人が有機的につながっていったというのを皆さんの中で心がけていただければありがたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【小林委員長】

ほかに何か質問ございますでしょうか。

では、議題（４）その他になります。委員の皆様から、本日全体を通して何かございますか。あれば手を挙げていただければと思います。大丈夫でしょうか。事務局は何かございますか。

【事務局】

ございません。

【小林委員長】

次第８、閉会でございます。

最後、吉川副委員長に締めていただきます。よろしくお願いいたします。

【吉川副委員長】

本日の委員会の議事は、皆様の御協力により、つつがなく終了いたしましたこととお礼申し上げます。

これをもちまして、令和２年度第１回寒川元気プラン推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

配付資料	資料 1	さむかわ元気プラン推進委員会設置要綱	
	資料 2	さむかわ元気プラン素案について	
	資料 3	今後のスケジュール	
議事録承認委員及び 議事録確定年月日		酒井 明美委員	亀山 一枝委員 (令和2年9月25日確定)